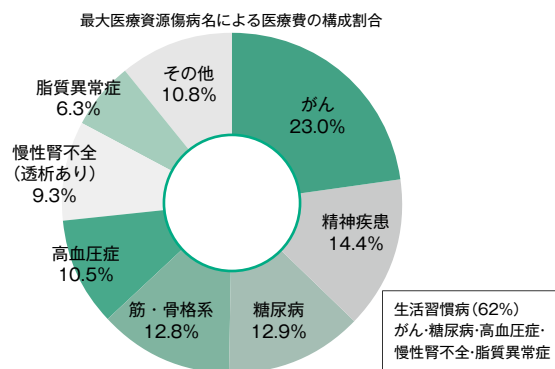


データヘルスで 家族みんなの「健やかさ」を 応援します



「データヘルス計画」は、＜医療＞＜保健＞＜介護＞などの各種データをもとに加入者の健康対策を効果的に実施し「**健康寿命の延伸**」と「**医療費の適正化**」を図るための計画です。

『国保医療費』の62%は生活習慣病に使われています。

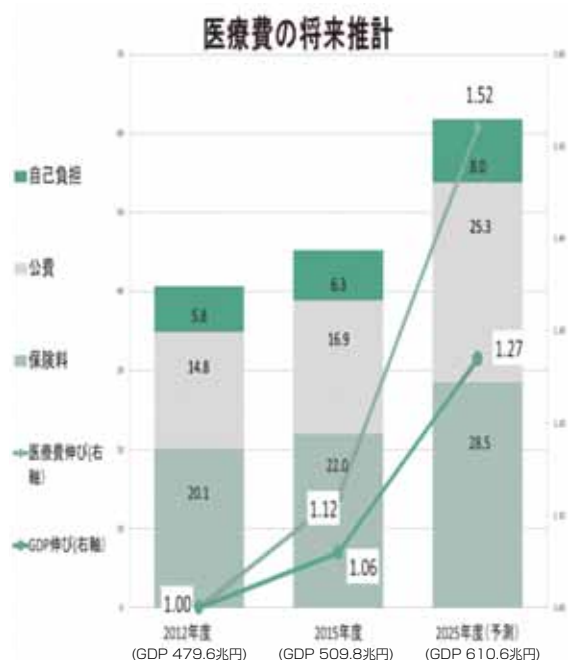


入院・外来・調剤を含め、最も医療資源を投入した傷病名で区分した医療費の構成割合を示したグラフです。「生活習慣病」に注目してみると62%を占めています。

「生活習慣病」は、日ごろの生活習慣を改善することで予防することができます。また、がん検診や特定健康診査などにより、早期発見が可能です。

根拠資料：KDB「地域の健康課題」⑩医療費分析より

『特定健康診査受診率』は46.6%と上昇してきましたが…



根拠資料：厚生労働省保険局国民健康保険課資料「医療費の将来推計」より

高浜市の特定健康診査の受診者は、平成26年度では2,844人、受診率46.6%と徐々に上昇しています。

しかし、健診の結果「医療が必要」とされた方184人の中には、受診せずに放置し、急変・状態悪化により、要介護状態や就労が困難などの重症化してしまった方もいます。

厚生労働省「医療費の将来推計」では、急速な高齢化、医療の高度化などにより、今後の医療費はGDP(国内で一定期間内に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額)の伸びを上回って増大することが見込まれており、あわせて自己負担、公費、保険料の増大も伴うと考えられます。

毎年の健診受診により、自分のデータの変化を知り、健診結果に応じて生活習慣を見直してみることで、確実に重症化を防ぐことができます。治療が必要になってからも、ジェネリック医薬品などにより、医療費用を節約することもできます。『かかりつけ医』などと相談しながら、自分の健康を守りましょう。

『健診結果』を生活習慣の改善にいかしましょう。

『健診結果に応じた生活習慣の見直し』は、あなたとあなたの家族の『幸せ』を守ります。受診忘れの方は、今から行動しましょう。